

卒業生らの思いがこもったミツバツツジを
植樹する生徒たち



ミツバツツジの名所に

生徒が学校前庭に植樹

蘇南高

学校をミツバツツジでいっぱいにして贈った20株と、取り組みを知った南木曾町から寄贈された30株を、3年生67人が思いを込めて植樹した。

一。そんな生徒たちの思いから、蘇南高校(南木曾町)はこのほど、学校前の庭にミツバツツジを植えた。今春の卒業生が記念品として贈った20株と、取り組みを知った南木曾町から寄贈された30株を、3年生67人が思いを込めて植樹した。

同校は昨夏、庭にあった枯れのアカマツや雑木など約30本を、地元の田中木材店の協力も受けて伐採した。庭に思いのほか多くのミツバツツジが生えていたことに気づき、より増やすことを当時の3年生が発案。ミツバツツジは同校の校章のデザインにも使われている。

植樹に参加した生徒たちは、2人一組となって事前に掘られた穴へ高さ50センチほどの株を

植え、土をかぶせていった。代表であいさつをした生徒会長の上野香奈莉さん(17)は、「(ミツバツツジの群生地として知られる学校近くの)天白公園に負けない場所になれば。花が咲くのが楽しみ」とほほ笑んだ。

今後ミツバツツジを増やしていく予定で、小川幸司校長は「地域の憩いの場として機能するようにしていきたい」と話していた。

(大嵩崎慧)